

会 議 録

会議の名称	平成25年度 第5回環境審議会
開催日時	平成25年10月29日(火曜日)午前10時から11時30分まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室1
出席者	委員：加納委員、勝村委員、井野委員、田辺委員、渡部委員、齋藤委員、二宮委員 事務局：湊みどり環境部長、東原環境保全課長、田中みどり環境部主幹、松下主事、本谷主事 傍聴人：なし
議 題	1 開会 2 議題 (1)第4回環境審議会会議録の確認 (2)（仮称）西東京市第2次新たな環境基本計画の素案について (3)（仮称）西東京市第2次新たな環境基本計画に係る市民説明会及びパブリックコメントの実施について (4) その他 3 閉会
会議資料の名称	資料1 会議録案（平成25年度第4回環境審議会会議録） 資料2 （仮称）第2次西東京市環境基本計画素案（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>開会</p> <p>議事</p> <p>議題1 第4回環境審議会会議録の確認について</p> <p>事務局： 説明（資料1の説明）</p> <p>一同了承</p> <p>議題2 （仮称）西東京市第2次新たな環境基本計画の素案について</p> <p>事務局： 説明（資料2の説明）</p> <p>会長： 第1章から第4章について意見をいただきたい。</p> <p>会長： 意見がないため、第1章から第4章については、現在の案のとおりとする。</p>	

第5章について意見をいただきたい。まず、「基本方針1」についてご意見をいただきたい。

齋藤委員：

資料2の23ページ46行目、凡例「取り組みの方向」は、必要ないのではないか。図の上の文章による説明で十分だと思う。

事務局：

より分かりやすくするため凡例を掲載したが、ご指摘を踏まえて削除する。

井野委員：

資料2の24ページ、郷土資料室の来館者数という目標は年度ごとの数字か。

事務局：

年度ごとの数字である。

渡部委員：

来館者数に関しては、工夫次第で達成できるものである。郷土資料室の中身の充実を目指すことが重要である。

事務局：

郷土資料室は廃校になった小学校を活用している。展示スペースが飽和状態に近く、今後、展示方法の工夫が必要と考えている。

渡部委員：

環境教育として、昔の人たちが、どのような環境の中でどのような生活を送ってきたかを伝えることが重要である。そのため、展示スペースにおいて、環境と人間のかかわりについて紹介する部分を充実させることが、環境教育という意味で重要と思う。

会長

「基本方針2」についてご意見をいただきたい。

田辺委員

市が毎年配布する「ごみ・資源物収集カレンダー」が見やすくなったと評判である。ごみ資源化がさらに進むと思う。

井野委員

資料2の30ページ、資源化率の目標値はどのように決定したのか。

事務局

一般廃棄物処理基本計画の目標値と同じ値とした。

会長

「基本方針3」についてご意見をいただきたい。

事務局

資料2の34ページ、指標「3-3自動車騒音の環境基準の達成状況」の現状の数字が、昼間と夜間で逆であった。昼間が90%、夜間が96%である。

齋藤委員

「3-2河川水質の環境基準の達成状況」の単位が、大文字と小文字が混在しているため、表現を統一すべきである。

事務局

単位の表現を統一する。

会長

「3-2河川水質の環境基準の達成状況」の目標についての説明が分かりにくい。

齋藤委員

「3-2河川水質の環境基準の達成状況」は、BODの値であることを記述したほうがよい。

事務局

BODの環境基準の達成状況であることを記述する。

井野委員

自動車騒音の測定地点は、箇所数が決められているのか。

事務局

決められていない。幹線道路沿いの住宅地の騒音を面的に評価する数値である。昨年度の調査箇所は4,700件程度である。

渡部委員

石神井川に対する東京都の施策を注釈で入れてもよいのではないか。

事務局

他計画との整合を図る必要はあるが、関連計画全ての内容を盛り込むと膨大になるため、取捨選択をする必要がある。石神井川に対する東京都の施策を記述するかどうかは、事務局と担当課で再検討する。

渡部委員

個人的には、石神井川は降雨の前後で水量が大きく異なるため、BODは測定日によってばらつきが大きく、指標にならないと思っている。

事務局

ご指摘のとおり、BODの変動が大きいため、環境基準の達成状況は75%値で判断することになっている。

渡部委員

将来、人が河川に入って遊べる程度に、水質がきれいになることが目標であると思う。

事務局

「3-2河川水質の環境基準の達成状況」に関しては、指標の説明を注釈で示す。

会長

「基本方針4」についてご意見をいただきたい。

事務局

CO₂排出量は毎年、排出係数が変わるため、努力量が見えにくいというデメリットがある。そのため、指標はエネルギー使用量とした。

会長

エネルギー使用量であれば、市民や事業者が努力した結果が数値に反映されやすい。

渡部委員

地域のみどりの確保について、地際から10cm程度残して草刈する等を本計画に盛り込めないか。

会長

基本計画であるため、草刈等の個別の取り組みは記述しない予定である。

事務局

西東京市には、「西東京市人にやさしいまちづくり条例」があり、その中で、みどりの保全を進めていくことを意思表示している。

渡部委員

資料2の47ページ、事業者の取り組みに屋上緑化が記述されているが、費用がかかる取り組みである。市内の事業者は取り組むことは可能なのだろうか。

齋藤委員

費用対効果が見込めないため、現時点で実施している事業者は少ないのではないか。

会長

みどりのカーテンは、電気代の削減等の視点で記述することが可能ではないか。

齋藤委員

断熱や遮熱性塗装等は事業者で既に実施していると思うので、事業者の取り組みとして記述してはどうか。

事務局

ご指摘の内容は、資料2の45ページの事業者の取り組みに記述している。同様の内容を47ページにも記述する。

井野委員

資料2の45ページ、ソーラーシェアリングや追尾型太陽光発電システム等、新たな技術を利用するということを本計画に示してはどうか。

会長

本計画は10年間という長期の計画であり技術の発展や移り変わりもあるため、太陽光利用という大枠の記述をすることとどめ、個別の技術については具体的名称などは記述しなくてもよいのではないだろうか。

渡部委員

公共施設を新築・改築する際は、エネルギーの合理化に重点を置くべきである。

事務局

ご指摘の内容は、資料2の42ページ、「②省エネルギーに関する取り組みの促進」で記述している公共施設の新設、改修時の配慮に含まれていると考える。

会長

「基本方針5」についてご意見いただきたい。

会長

意見がないため、案のとおりとする。

会長

「第6章」についてご意見をいただきたい。

会長

意見がないため、案のとおりとする。

会長

「第7章」について意見をいただきたい。

齋藤委員

環境保全推進協議会は、市民・事業者・行政が関係する組織であり、周辺自治体にはない取り組みであると思う。そのため、資料2の52ページ、「5-（4）の市民・事業者・行政の共同体制の構築」をアピールしたほうがよいのではないか。

事務局

周辺自治体に同じ名称や目的の組織はないが、似た組織として、小平市では「小平市グリーンロード推進協議会」、東久留米市では、河川の水質向上を目指した市民と行政の協働の取り組みがある。

齋藤委員

西東京市で今後立ち上げる環境保全推進協議会は特定の分野の組織ではないことが特徴である。環境先進都市となるための重要な組織になると思う。

事務局

まだ組織化されていないため、本計画でアピールはせず、数年間実績を蓄積した後にアピールすることを考えている。

齋藤委員

設置を決定したこと自体が画期的であると考えます。

事務局

今後、パブリックコメントや市民説明会等でアピールしていきたい。

渡部委員

環境保全推進協議会は先進的な事例を参考にし、それらから学びながら具体化するとよいと思う。

会長

本日の会議での意見をどのように素案へ反映するかについては、会長と副会長に一任していただきたい。

議題3 (仮称) 西東京市第2次新たな環境基本計画に係る市民説明会及びパブリックコメントの実施について

事務局

11月3日、エコプラザ西東京にて市民説明会（オープンハウス形式）を開催する。

11月9日、いこいの森公園で行われる市民まつりで、市民説明会（オープンハウス形式）を開催する。

1 1月26日～12月26日まで、パブリックコメントを行う。

1月下旬～2月上旬にパブリックコメントでの意見を踏まえた素案の修正を行い、その内容について意見をいただくことを目的として、環境審議会を開催する予定である。

その他

事務局

市民説明会及びパブリックコメントで示す資料のタイトルは、資料2のタイトルから「(仮称)」と「(案)」を削除し、「西東京市第2次環境基本計画素案（平成26年度～平成35年度）」とする。

閉会

会長

本日の環境審議会は以上で終了する。